

# シンガポール・ポスト(SPOS)

買収により豪州ロジスティクス事業が主力事業化。炭素効率性の高い集荷・配達に向けて集荷箱「POPドロップ」を開発  
 シンガポール | 宅配サービス | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社  
 (PXR-0002)

BLOOMBERG SPOST:SP | REUTERS SPOS.SI

- 2023/3期1H(4-9月)は、売上高が前年同期比31.1%増、営業利益が同19.1%減、基礎的純利益が同64.7%減。豪州FMH買収で大幅増収。
- ロジスティクス事業は、豪州の売上高が同3.3倍、会社全体の売上構成比42%を占める。貨物輸送も運送費上昇を受けて堅調に推移。
- アリババ傘下の越境Eコマース大手ラザダと共同で、炭素効率性の高い集荷・配達を可能にする集荷箱「POPドロップ」を新たに開発。

## What is the news?

11/3発表の2023/3期1H(4-9月)は、売上高が前年同期比31.1%増の9.58億SGD、営業利益が同19.1%減の41.3百万SGD、純利益が前年同期の35.0百万SGDから▲2.4百万SGDへ赤字転落。21年12月に51%持ち分で買収した豪州のフライト・マネジメント・ホールディングス(FMH)が半期で過去最高の売上高達成に貢献。豪州のロジスティクス事業が売上構成比42%に達した。買収後のFMHの好業績に伴う公正価値の上昇によりプットオプション負債評価差額償却費用21.0百万SGDを計上したことが最終赤字に繋がったものの一時的要因を除く基礎的純利益は同64.7%減の13.2百万SGD。営業利益は、2Q(7-9月)が1Q(4-6月)の3倍に上ったものの、郵便・小包事業の不振が響き減益だった。

主な事業セグメント別の1H業績は以下の通り。①ロジスティクス事業は、売上高が前年同期比79.4%増の6.80億USD、営業利益が同2.6倍の41.5百万SGD。FMH買収により豪州部門は売上高が同3.3倍。貨物輸送も運送費上昇を受けて同13.3%増収と堅調だった。②郵便・小包事業は、売上高が同19.6%減の2.61億SGD、営業利益が前年同期の11.3百万SGDから▲12.1百万SGDへ赤字転落。国内および海外でのEコマース物流数量の減少および郵便・小包事業に係るインフラ費用の増加が響いた。③シングポスト・センターの商業施設とオフィスの賃貸を中心とする不動産事業は、営業収益が同15.1%減の50.8百万SGD、営業利益が同14.7%減の22.7百万SGD。21年12月の事業売却の影響で減収減益も不動産賃貸は稼働率が96.7%に上り堅調だった。

## How do we view this?

同社の戦略的フォーカスは、①豪州での成長追求、②クロスボーダーのビジネス再活性化、③シンガポール国内の配送に係るインフラ施設増強、④低炭素への移行による環境持続性への投資の4点である。

そのようななか、同社は昨年12月、第2位株主アリババ・グループ傘下の越境Eコマース大手ラザダ・グループと共同で新形態の集配サービスを今年4月に開始すると発表。EC販売業者などが商品をセルフサービスで自動投函できる集荷箱「POPドロップ」を新たに開発し、既存の宅配ロッカー「POPステーション」と組み合わせることで、ドアツードアの集荷と比べて炭素効率性の高い集荷・配達が可能になるとしている。

## 業績推移

※参考レート 1SGD=99.30円

事業年度	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3F	2024/3F
売上高(百万SGD)	1,313	1,404	1,665	1,982	2,006
当期利益(百万SGD)	91	47	83	63	94
EPS(SGD)	0.03	0.01	0.03	0.02	0.03
PER(倍)	17.67	53.00	17.67	26.50	17.67
BPS(SGD)	0.56	0.57	0.58	0.58	0.60
PBR(倍)	0.95	0.93	0.91	0.91	0.88
配当(SGD)	0.04	0.01	0.02	0.01	0.02
配当利回り(%)	7.55	1.89	3.77	1.89	3.77

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) 0.01 (予想はBloomberg)  
 終値(SGD) 0.53 2023/1/10

## 会社概要

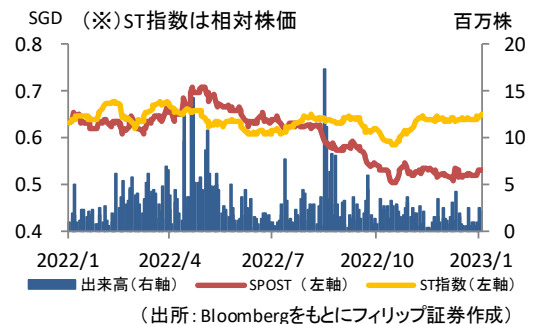
1819年設立の郵便事業会社。筆頭株主の政府系投資会社テマセク・ホールディングスを通じて通信会社のシンガポール・テレコム(シングテル)の関連会社となっている。

郵便事業以外にも国内・国際配送サービスを手掛け、Eコマース物流企業として倉庫保管およびフルフィルメント(エンドユーザーにとって発注から商品が届くまで必要な業務全般)、ラストワンマイルの自宅までの配送、国際的な貨物輸送に至るまでEコマース物流ソリューションを提供。Eコマースで中国首位のアリババグループが第2位株主。15の市場で事業を展開する。

同社の事業セグメントは、①ロジスティクス事業(豪州、貨物輸送、その他)、②郵便・小包事業(海外、国内、国内Eコマース・ロジスティクス)、③不動産事業(シングポスト・センターの商業施設およびオフィス空間)の主要3事業から構成される。

## 企業データ(2023/1/11)

ベータ値	0.77
時価総額(百万SGD)	1,181
企業価値=EV(百万SGD)	1,373
3か月平均売買代金(百万SGD)	0.9



## 主要株主(2023/1)

1. テマセク・ホールディングス	22.00
2. アリババ・グループ	14.56
3. VANGUARD GROUP	1.62

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木 和弘  
 +81 3 3666 6980  
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。